ミルクで繋がる講演と交流の集い！2019
～最新考古学の研究を通して乳利用の歴史を学ぶ～

開催日時　2019 年 12 月 7 日（土）14：00～20：00　　主催：ミルク一万年の会

第一部　講演会

【日時】2019 年 12 月 7 日（土）13:30 受付開始、14:00～17:10
【場所】連合会館　201 会議室
千代田区神田駿河台 3-2-11　TEL:03-3253-1771
アクセス　https://rengokaikan.jp/access/
【参加費】¥1,000（※学生無料）　【定員】80 名（定員になり次第締め切らせていただきます）

講演１　14:10～15:40　（講演 80 分　質疑 10 分）
【演題】～最新の考古学研究の成果が示す人類の乳利用の歴史～
【内容】最近の分析技術の飛躍的な発展に支えられ、先史時代の人類の歴史に新しい光が当てられようとしています。人類の乳利用の歴史もその一つです。そこで、今回は、考古科学の世界的な研究者である庄田慎矢先生に、最近の考古学研究の動向や乳利用に関する最新の研究成果、さらには研究の可能性について、お話を聞くことにします。
【講師】庄田慎矢　先生
奈良文化財研究所　主任研究員　、英国ヨーク大学　考古学科　名誉客員研究員

講演２　15:50～17:00　（講演 60 分　質疑 10 分）
【演題】～乳利用の歴史と乳糖耐性～
【内容】人間は成長すると乳糖（乳に特有な糖）を消化できなくなります。従って、人類の乳利用の歴史は乳糖をどのようにして利用するのかという課題と深く関係しています。紀元前４千年ごろに、西ヨーロッパで成長しても乳糖を消化できる人々が登場しました。このことにより、欧米の人々の多くは乳をそのままの形で利用することができるようになりました、一方、アジアやアフリカなどの多くの人々は、依然、大人になると乳糖を消化できません。人類の乳利用の歴史を考える場合、この乳糖耐性との関係が重要なポイントです。
【講師】堂迫俊一　先生
ミルク一万年の会世話人、乳の学術連合・社会文化ネットワーク会員

第二部　交流会

【日時】2019 年 12 月 7 日（土）17 時 15 分受付開始　17 時 30 分～20 時
【場所】「カフェ＆ダイニングバー　ケーズ」
千代田区神田淡路町 2-23　菅山ビル１F　TEL:03-3253-3811
アクセス　https://www.kz-party.com/
【内容】ミルク一万年会会員や乳に係る多様な活動を行っている多様な方々の交流（活動状況の報告も）を通じて、今後のそれぞれの活動のさらなる発展を目指します。
牧場や地域などの自慢の食べ物や食材の持ち込み大歓迎です！
特別企画　日本酒とチーズのマリアージュ　（予定）
【参加費】¥5,000（※学生 2,000 円）　【定員】50 名（定員になり次第締め切らせていただきます）

【締切】11 月 22 日（金）までに、講演会及び交流会、講演会のみ、交流会のみを明確にして、
①お名前　②連絡先を添えて、メール（milk.10000year@gmail.com）でお申し込みください。
（先着順となりますのでお早めも申し込みをお願いします。　（以上）